後援会会員募集!!

よみやま洋司通信

元内閣参事官／子育て支援ベンチャー企業会長　　YOJI YOMIYAMA　　vol.1 2017

よみやま（読谷山）洋司のプロフィール

昭和39年2月20日生まれ（53歳） 緑ヶ丘小学校・南中学校出身

昭和61年	東京大学経済学部卒業。同年自治省（現在の総務省）入省。同省財政局主査、大蔵省銀行局課長補佐、総務省大臣官房企画官等を歴任。また、この間、徳島県・青森県・新潟県・沖縄県に出向し、地域経済の再生や交通政策、行財政改革等に取り組むとともに、国際連合（国連）経済社会局コンサルタントとして世界各国の行財政改革の推進に従事。
平成17年	愛媛県総務部長就任
平成20年	内閣府参事官及び内閣官房内閣参事官に就任。（緊急経済対策、企業再生支援機構法案、地方分権推進等を担当）
平成22年	岡山市副市長就任
平成24年	総務省を退職し延岡市に帰郷。同年行政書士登録。子育て支援会社（こども一る）の設立・運営を行うなど、地場の中小事業者として活動
平成26年	一般社団法人延岡観光協会副会長に就任（兼務）
平成27年	長崎県立大学経済学部教授に就任（兼務）
現　　在	子育て支援会社役員（取締役会長）を務めるとともに、行政書士として市民の生活のサポートや企業等の経営支援（木材、住宅、商社、医療機器製造、造船、IT、不動産、建築、国際会議運営、介護予防、電力、再生エネルギー、観光振興、医療法人経営等）に従事
（主な著書）	第三セクター明日への課題（ぎょうせい）など

現在の延岡にはこんな問題・課題があります。
→ 早く変えなければなりません！

1 人口減少が県内一多く、高齢化も県平均以上

毎年1,500人程度減少、年少人口比率（13.17%）が県平均（13.58%）・日向市（14.05%）よりも低い。

2 子育て環境に課題あり、深刻な医療不足

「隠れ待機児童」問題、子育て世代が延岡市より日向市や門川町を選ぶ傾向。休日等子どもをつれていくところがない。医療費助成が他市町村より少ない。

3 中心市街地再生策なかなか見出せず

4 農林水産産業予算の大幅減

（平成21年度）約27億6,400万円 →（平成27年度）約16億3,700万円（なんと約41%減）

5 スポーツ施設の老朽化等

6 生活が苦しい

市民税課税標準額200万円以下の人が約81%

7 延岡の優れているところを活かしていない

（例）延岡には海の幸・山の幸があり、全国に味方・ファンがたくさんいるのに、ふるさと納税額は都城市の0.8%
都城市73億円、都農町50億円、日向市2.8億円、延岡市6千万円（昨年度額）

8 今後の「ハコ物」維持管理費の負担大

庁舎をはじめ大規模施設が次々と整備されたが、その後年度負担は？駅前複合施設の後年度管理費も不明のまま（佐賀県武雄市や岡山県高梁市では年間1億円以上指定管理者に支払っている。）

一方、延岡にはこんなすばらしい所があります。

1 歴史・文化等豊かな財産がある

城下町、おせったいの心、各種文化活動、神楽・古事記・西南の役関係、小峰焼など

2 日本一・世界一のものがたくさんある

素晴らしい工業製品・技術、オリンピックメダリスト、水質日本一の五ヶ瀬川など

3 超一級品の自然・第一次産業の素晴らしさ

海の幸・山の幸に恵まれている。超一級品の海・山・川にまちなかからすぐ行ける。

4 国内外に多くの味方（ふるさと納税日本一を目指せる！）

旭化成関係者が全国にたくさんいる。

5 多くの観光客がすぐそこまで来ている

高千穂に年間約150万人の観光客、県内に多くの野球・サッカーファンがキャンプ・練習試合に来ている。

6 人生経験豊富な人材が地域で活躍、ボランティア活動もさかん

問題・課題を解決し、そして延岡の優れた点を活かして延岡を変えていく。
「延岡人で良かった」と私たちが思える延岡をつくる。
よみやま洋司はこのような視点から次の7つの政策を提言します。

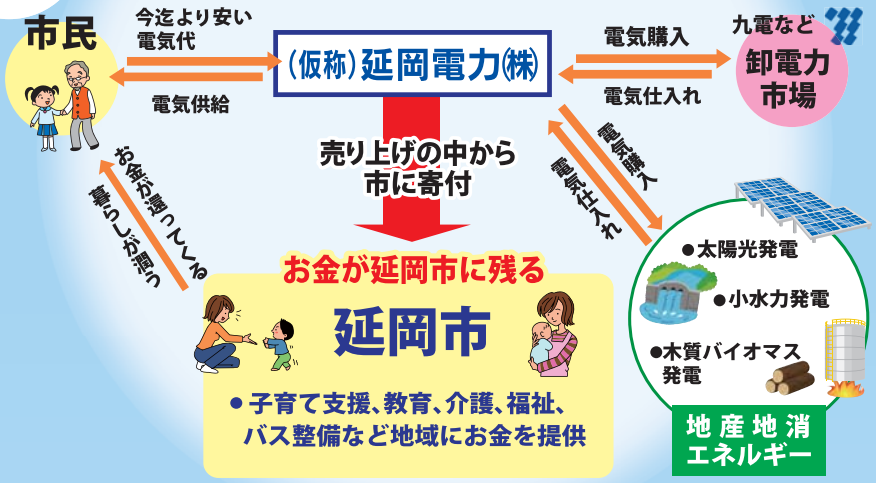
7つの提言

❶ 市民の「現金収入」を増やす。

よみやま洋司の政策↓「延岡人で良かった」と私たちが思える延岡に変える！

【1】安い経費で暮らせるまちに変える

1 新しい地域電力会社をつくり、電気代を下げます。



2 新しい視点でバス交通のネットワークを整備し、安く移動できるまちに変えます。

※スクールバス、デイ送迎車などを部分的に活用できないか？

3 関係機関と十分協議しながら、子ども医療費助成を中学3年生まで拡大します。

4 「財政・市民負担総点検」を行い、ゴミ袋から税金に至るまで市民負担が下げられるものは下げていきます。

5 「東九州のクロスポイント」（後述）として多様な企業立地を実現し、給料の引き上げ競争を起こす。

【2】思い切った産業・雇用政策の実行

国・他地方、大手民間企業などの同志とのネットワークをフルに活用して取り組みます。

1 内から外から経済を活性化し「外貨」を稼ぎ「中」で回します。

1）地元企業発注を基本
2）総合商社「延岡経済リンケージ機構」創設

「外」とつなぎ「外貨」を稼ぐ
「延岡経済リンケージ機構」

2 「東九州クロスポイント（交差点・結節点・集積地）構想」の実行

「延岡の強み」を活かし、製造・物流・ITの拠点に

細島港・新しい九州全体の海の玄関
・九州で一番東京に近い国際貿易港
・九州で一番アメリカに近い国際貿易港
・国が重点港湾に指定

3 攻めの第一次産業政策を市政の大きな柱に

1）10％所得アップ政策
2）「農山漁村版ハローワーク」などでマンパワー確保
3）「延岡経済リンケージ機構」を活用したトップセールス
4）国の政策・補助金等をフル活用

4 地場企業支援と「2つのキギョウ誘致」でワクワクする延岡に

1）資金・人材・ノウハウ面や「トライアル発注」で支援
2）製造・物流・ITなどの企業誘致
3）Uターン人材も含め「起業」促進・誘致
4）「6S観光」（スポーツ、自然体験、神話・歴史、里帰り、食、産業）の推進

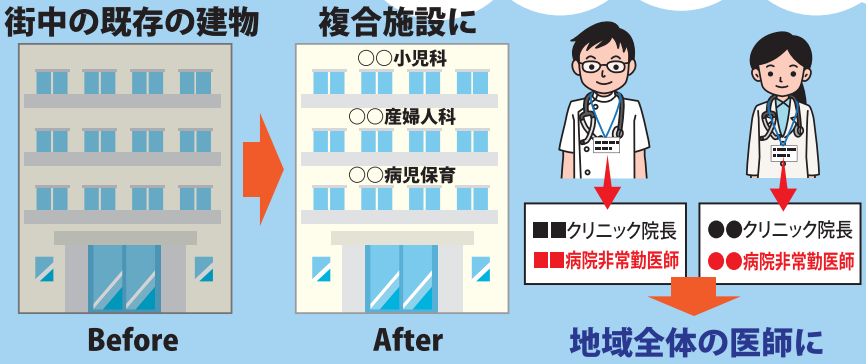
5 基盤整備

1）九州中央自動車道整備促進
2）延岡南道路料金見直し
3）ミニ新幹線方式等検討

よみやま洋司の政策➡「延岡人で良かった」と私たちが思える延岡に変える！

② 市民の暮らしを守る

1 関係機関と十分協議しながら「新型病院構想」を推進し医師不足を解消



2 何でも総合相談所「365日駆け込み寺」を創設し、市民も事業所もサポート

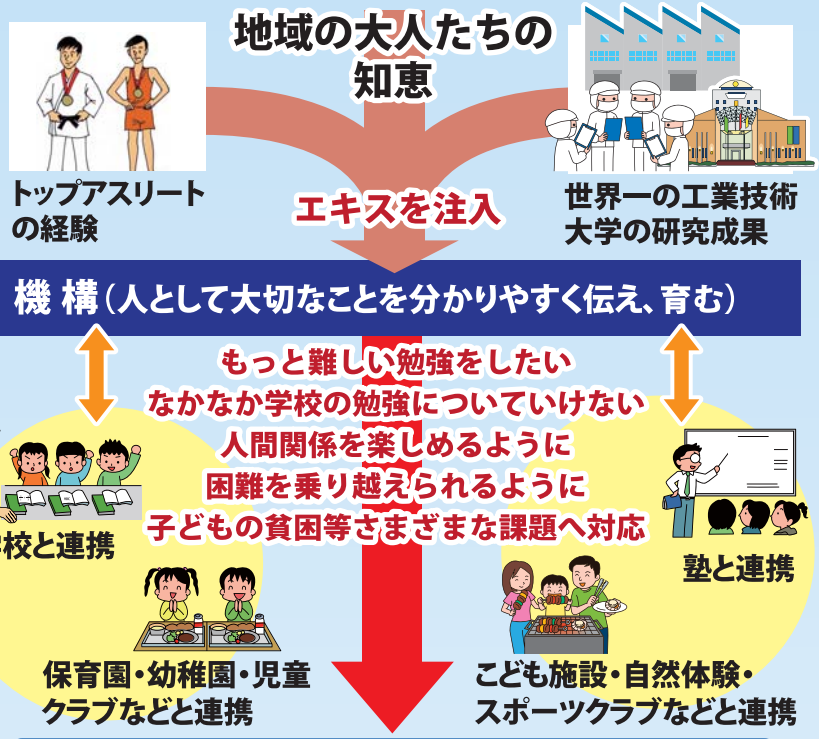
3 防災・減災対策を強力に推進

4 「健康マイレージ事業」で健康寿命日本一のまちに

5 健康づくりや市民サポートなどのさまざまな事業を再整理、市民の負担軽減など

③ 知力・体力・人間力を育成「世界一の教育・子育てのまち」をつくる

1 「こども未来創造機構」を創設し、関係機関や地域と連携して教育・子育て支援等を実施



2 幼稚園、保育園、児童クラブなども強力に支援

④ すべての世代がワクワクするまちをつくる

1 アスリートタウン再構築、計画的なスポーツ施設の整備・改修等の実施、合宿・キャンプ等を行うプロ・アマチュアのスポーツチームを強力に誘致

2 生活・交通・仕事の「3つの拠点」として中心市街地再生

3 強力な起業支援でワクワクするスポットを育む

4 男女の出会いの場づくり

5 「こどもーる」の経験を活かし、子どもも大人も楽しめる施設を整備

6 文化・歴史を大切にするまちに

⑤ 新しく・優しく・力強い「現場主義」の地域づくり

1 三北各町の特色を大切にしフルに活かす「延岡合衆国」づくり（各総合支所が独自財源・権限を持ち、力強くスピーディーに動くとともに、各町独自の基準や財源によりまちづくりを推進。）

2 「地域担当職員」の新設、「移動市役所」の実施

3 高齢者や障がい者等に優しいまちづくり

4 草の根活動やさんさんクラブなどへの支援

5 自然環境保護と学び（ESD）推進

★ESDとはEducation for Sustainable Development「持続可能な開発のための教育」の略で、2002年の国連地球サミットで日本が提唱したもの。

6 城下町にふさわしいまちづくり

⑥ 「5つの財源対策」で財源確保

1 歳出のゼロベースからの見直し
「財政・市民負担総点検」を行い、歳出を抜本的に見直し、財源を捻出

2 「年度末の予算使い切り」の廃止

3 国の政策・補助金等をフル活用

4 新しい地域電力会社の売上を市のまちづくりの財源に活用

5 「ふるさと納税日本一」を実現し財源を確保
海の幸・山の幸に恵まれ、市外・県外に「味方」がたくさんいるという延岡の強みをフルに活用

⑦ 情報公開・市民参加のための新たな条例をつくる

予算編成や大規模事業を決める前に必ず市民の意見を聴くことを市に義務づける条例を制定し、「真に市民が主役の市政を」実現。

施設整備の場合は、後年度の維持管理経費等も必ず事前に公表。

よみやま洋司に質問!!

せっかく長年務めてきた国家公務員を辞めたことを後悔していませんか？

全く後悔していません。もともといずれ延岡に帰って政治家になりたいと思っていましたし、政治の道が厳しいことも承知の上です。

むしろ、これまで延岡の地場の中小事業者として厳しい地域経済の中走り回り、また昨年無所属で立候補した参院選を通じて多くの市民の声を直接聴くことで「何としてもふるさとの皆様のお役に立たせていただきたい！」との気持ち・覚悟が一層強固なものになりました。

国家公務員ってどんな仕事をするんですか？
ものすごく忙しいようですね。

まず法律づくりです。私はこれまで地方税法や地方財政法、JAL再生に貢献した企業再生支援機構法、さらにはバブル崩壊後の住専処理法など、さまざまな法律づくりや改正を行いました。

また政策づくり・予算づくりなども行います。また私の場合、市町村が一番大事な役割を果たす行政システムをつくるための地域主権改革なども行いました。

寝れず家に帰れない日が何日も続きましたが、辛いときや苦しいときに、延岡弁で独り言をつぶやき、延岡を思い出して何とか乗り越えてきたので、今まで頑張ってこれたのはまさに延岡のおかげだと思っています。

国連コンサルタントとして海外で活躍
（スリランカのプレマダーサ保健大臣との会見の様子）

お酒やタバコはどうですか？

お酒もタバコも全く飲めませんが、大の「甘党」です。甘いものは和菓子も洋菓子も果物も大好きです。ちなみに、コンビニやスーパーなどで甘いものを買って食べることが、今の趣味かもしれません。（笑）

延岡弁が全然抜けていませんね。
どうしてですか？

中三の終わりという思春期に私は延岡を離れたため、なかなか新しい環境になじめず、また就職してからも難しい仕事ばかりでしたが、苦しいときや悲しいときに、自分を励ますために延岡弁で独り言をつぶやき、楽しかった延岡のことを思い出しながら何とか乗り越えてきました。そのため、私は昔の延岡弁をそのまま持ち歩いて生きてきたのです。先日20代の人から「私のおばあちゃんの延岡弁と同じだ」と言われました（笑）

現在どんな仕事をしていますか？

延岡で興した子育て支援会社（こども－る）の役員としての仕事に加え、行政書士として市民の生活のサポートや相談対応、企業等の経営支援（商社、医療機器開発、IT、木材、住宅、再生エネルギー、不動産、建築、造船、国際会議運営、介護予防、観光振興、医療法人経営等）を行っています。延岡にいながらも常に日本経済の最前線に身を置いており、今後延岡への企業誘致等につなげていきます。

岡山電力㈱（新電力会社）設立
の記者会見の様子

趣味や特技などを教えて下さい。

剣道2段で、子どもの頃延岡興武館という道場に通っていました。またスキューバダイビングのライセンスも持っていて、延岡の海にも何度も潜り、その素晴らしさに驚きました。実は趣味を楽しむ時間はほどんどないないのですが、私はもともと地域活性化のための政策を考えることが三度の飯よりも好きなので、毎日が充実しています。

総務省(旧自治省)はこんなところです!!

1. 総務省は「内閣の要」

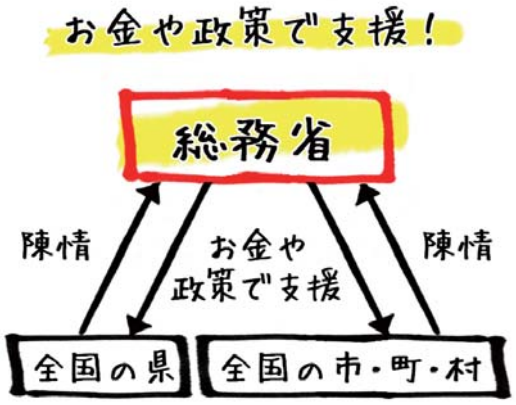
～ 総務省出身者は各省に豊富な人脈を持つ ～

・総務省は各省の中の筆頭官庁、総合調整役
・総務省の中で特に旧自治省出身者の果たす役割は大きい
・各省の地方予算は財務省だけでなく総務省の了解も必要
・官房副長官（官僚トップ）、宮内庁長官、内閣法制局長官、内閣府事務次官、復興庁事務次官など他省庁幹部にも総務省出身者は多く就任

2. 総務省は「地方の要」

～ 総務省とのつながりはお金の面でも政策面でも極めて重要 ～

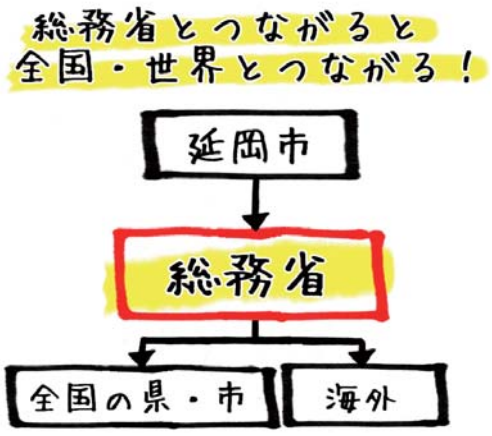
・総務省は地方財政を担当、各県・市町村の財源を確保・支援
・総務省は過疎対策、人口減少対策、地方創生、移住・定住対策、地方分権、ＩＴ戦略なども担当
・総務省は市民の暮らしを守る消防、防災、危機管理なども担当
・総務省出身者は全国の県や市町村に豊富な人脈を持つ



3. 国内外に広がるネットワーク

～ 総務省出身者は国内外に豊富な人脈と強い政治力を持つ ～

・全国の知事・市長・国会議員の多くが総務省出身
　＝総務省出身者は日本中とつながっており全国の県や市町村とも協働できる
・総務省は地方の海外支援拠点を７ヶ国に持つ上、
　総務省出身者は各国の大使、公使、一等書記官等にも就任
　＝総務省出身者は地方の海外進出にも力を発揮できる



元総務省幹部 よみやま洋司を

延岡市民が活用しない手はない!!

よみやま洋司後援会事務所

〒882-0026 宮崎県延岡市無鹿町1丁目622-1
【電 話】0982-20-4255
【携帯】080-1706-9326(担当:猪之鼻・佐々木)
【Mail】yomiyamayoji.jimusyo@gmail.com
【ホームページ】http://yomiyamayoji.sakura.ne.jp/drupal/
【応対時間】平日の午前10:00～午後4:00

よみやま洋司事務所

※国道10号線沿い、川原自動車様の北隣(東海コミュニティセンターやJA延岡東海支店様から北に向って少し行った所です。)
※駐車スペースあります。